

令和4年度島根大学大学院

教育学研究科入試問題（I期）

《教育実践開発専攻（専門職学位課程）》

小論文（出題意図）

問1では“連携”の具体的な在り方を描く上で、代表的な連携相手となるスクールカウンセラー（心理の専門家）とスクールソーシャルワーカー（福祉の専門家）について正しく理解できていることを確認する。

問2では「チーム学校」答申に関する基本的な理解を問うと共に、今日の学校における多職種連携に関する基本的な理解を問う。特に、教員以外の専門スタッフの参画の背景として、「子供と向き合う時間の確保等のための体制整備」が意図する業務見直し等による多忙化解消と、「複雑化・多様化した課題を解決するための体制整備」が意図する生徒指導上の課題解決のための専門家との連携・協働が区別して理解できていることを確認する。なお具体的場面としては、虐待、いじめ、不登校、発達障がい等を挙げることを想定している。